

全国こども陶芸展

文部科学大臣賞受賞

上坂燈琉さん（岩井第一小6年）が、「第22回全国こども陶芸展 in かさま」の小学4～6年生の部門において、文部科学大臣賞を受賞しました。

同陶芸展では、全国の小中学生が制作した個性豊かな陶芸作品1,274点の中から、最高賞1点のほか、各部門で特別賞（文部科学大臣賞、県知事賞など）や優秀賞が選出されました。

燈琉さんは、昨年も同部門で文部科学大臣賞を受賞しており、2年連続2度目の受賞となりました。おめでとうございます。

作品は電車型巨大な物で、作品名は「キハ514系」です。座席や運転席、車輪、連結器など、細かなところまで造形されていて、鉄道車両が大好きという思いが込められています。

燈琉さんの作品は、8月31日まで、県陶芸美術館（笠間市）で展示されています。



田んぼの生きもの調査

6月23日、松下用排水機場付近（長須）で、長須小学校4年生が「田んぼの生きもの調査」を行いました。

この活動は、長須西部地域資源保全協議会（西総土地改良区）が平成19年から実施しているイベントです。

参加した児童の皆さんは、田んぼや水路の水質を調査したり、生き物を網ですくって観察して、田んぼが育む生態系について学びました。



コミュニティバス坂東号「矢作ルート」を延伸



コミュニティバス坂東号の「芽吹橋」～「七郷小学校」を結ぶ「矢作ルート」は、7月3日から、「グリーンランド」（別ルートで設置済みの停留所）へ運行区間を延伸しました。同日、延伸にもなう出発式が開催され、同停留所から通学に利用する児童や住民等計11名が乗車しました。



▼役所や銀行がキャッシュカードの暗証番号を聞いたり、自宅まで取りに来ることはありません